

目の健康

急性緑内障発作 隅角閉塞で眼圧上昇

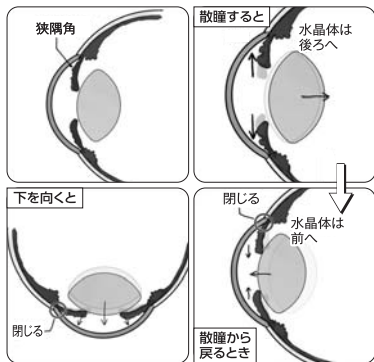
目の中を循環している水の排水口がもともと狭い狭隅角は、そのまま完全に閉じてしまうと、眼球内に水がたまってしまう、急激に水圧（眼圧）が上がります。その結果、突然目が激しく痛み、頭が痛くなって吐く人もいます。強くかすみ、視界が虹色に見えるなどの症状も出ます。これが緑内障発作です。中年の小柄な女性で昔から目が良くて眼科にかかったことがない人に起こりやすいです。

起きることがあります。一部の眠剤やかぜ薬、花粉症の飲み薬、目薬の作用のほか、暗いところで読書をしていると散瞳します。発作を起こしやすい目かどうかが、一度眼科で相談すると予防につながります。発作が起きてしまつて受診したときは、発作の直前に何をしていたか、使っている薬などの情報を伝えると対処がスムーズになります。

発作は、うつ伏せでマッサージなど長い時間下を向いた後に起きます。水晶体が前へ落ち込むのが引き金になり、隅角が閉じるからです。また、瞳が大きくなる（散瞳）なった後に

予防として目薬やレーザー治療を行い、発作が起きたら点滴等で治療しますが、根本的な解決はなんと白内障の手術で、水晶体を薄い人工レンズに取り替えると隅角が広がります。

〈目の断面図〉



宇井 理人 先生

プロフィール

北里大学北里研究所病院
宮久保眼科非常勤医師
＜専門＞緑内障、眼科一般



〒371-0044 前橋市荒牧町2-3-15

院長 宮久保 純子

日本眼科学会
認定眼科専門医

●お問い合わせはお気軽に

フリーダイヤル

0120-234-436 027-234-3511

休診日／日曜日、祝日

<http://www.miyakuboeyeclinic.com>